

DXA 法による精度の高い骨密度測定ができます！

島津メディカル製

SOMIALVISION G4 導入により、精度の高い

骨密度検査が可能になりました。



・ DXA 法とは

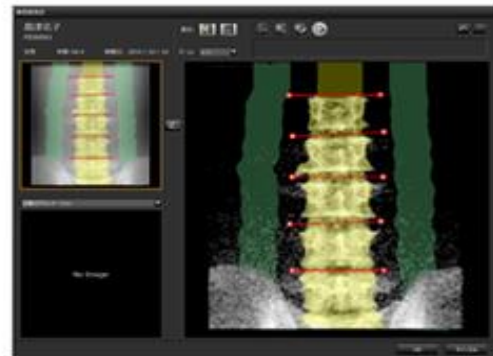
Dual-energy X-ray Absorptiometry (二重エネルギーX線吸収測定法)の略で、2種類の異なるX線を照射することで、それぞれのエネルギーがからだの組織によって吸収率が異なることから、検査対象の組成を測定する方法です。このDXA法による骨密度測定は『骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン』にて推奨されており、骨粗鬆症の評価に優れています。

・ 骨粗鬆症とは

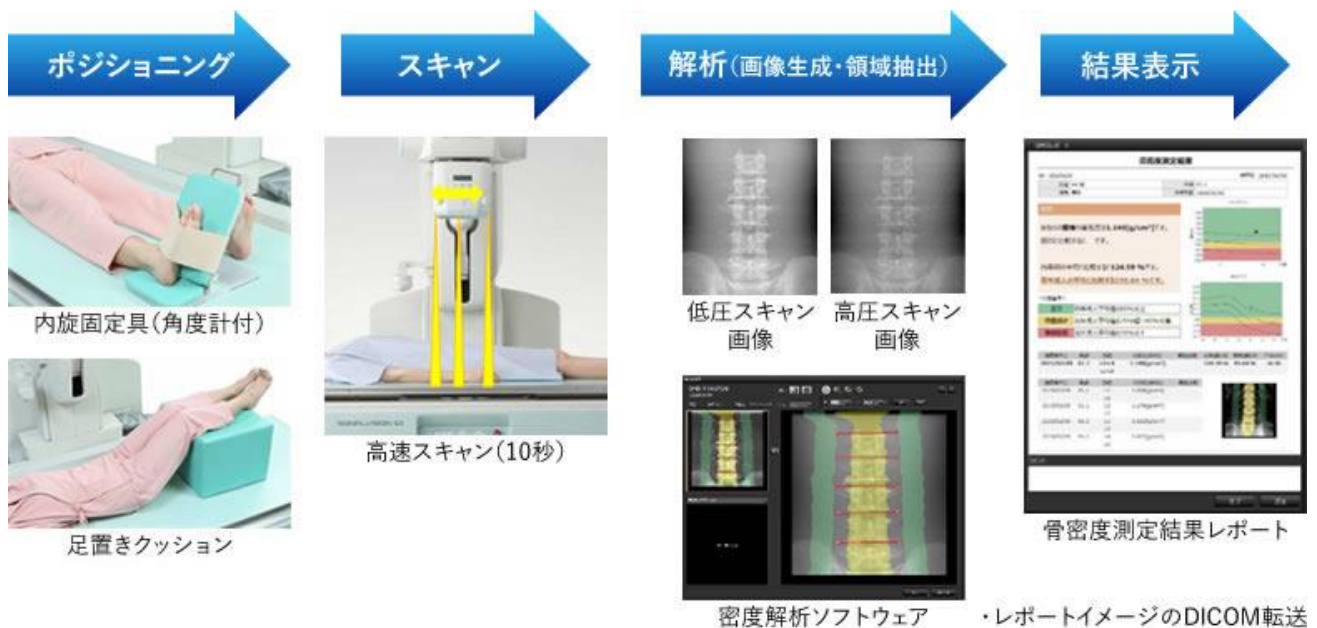
骨の強度が低下して、骨折しやすくなる骨の病気です。骨粗鬆症によって骨がもろくなると、つまずいて手や肘をついた、くしゃみをした、などのわずかな衝撃で骨折してしまうことがあります。また、骨粗鬆症自体には痛みなどの自覚症状がなく、背中や腰が痛くなってきた・以前より身長が縮んだ、など症状が悪化してから気付くことがあります。予防的な意味でも、自覚症状がない時から検査を受けることをお勧めします。

・検査に関して

- ・ 腰椎と大腿骨頸部の検査を行います。
- ・ 検査は、入室してから退出するまで
10分～15分程度です
(1部位の撮影時間自体は10秒程度です)。
- ・ 検査部付近に金属・ボタン・貼り薬・カイロ等
が付いている場合は外してもらうか、
検査着に更衣をしていただく必要があります。
- ・ 妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方は検査できません。



・検査の流れ



※特に次のような方には骨密度検査をお勧めします。

- ・ 高齢者
- ・ 閉経後の女性
- ・ 関節リウマチ
- ・ 副甲状腺機能亢進症
- ・ 糖尿病
- ・ 慢性腎臓病（CKD）
- ・ 長期的にステロイド薬を使用している
- ・ 動脈硬化
- ・ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- ・ 日光に当たる機会が少ない、または運動不足
- ・ カルシウムの摂取量が少ない、無理なダイエットをしている、偏食がある